

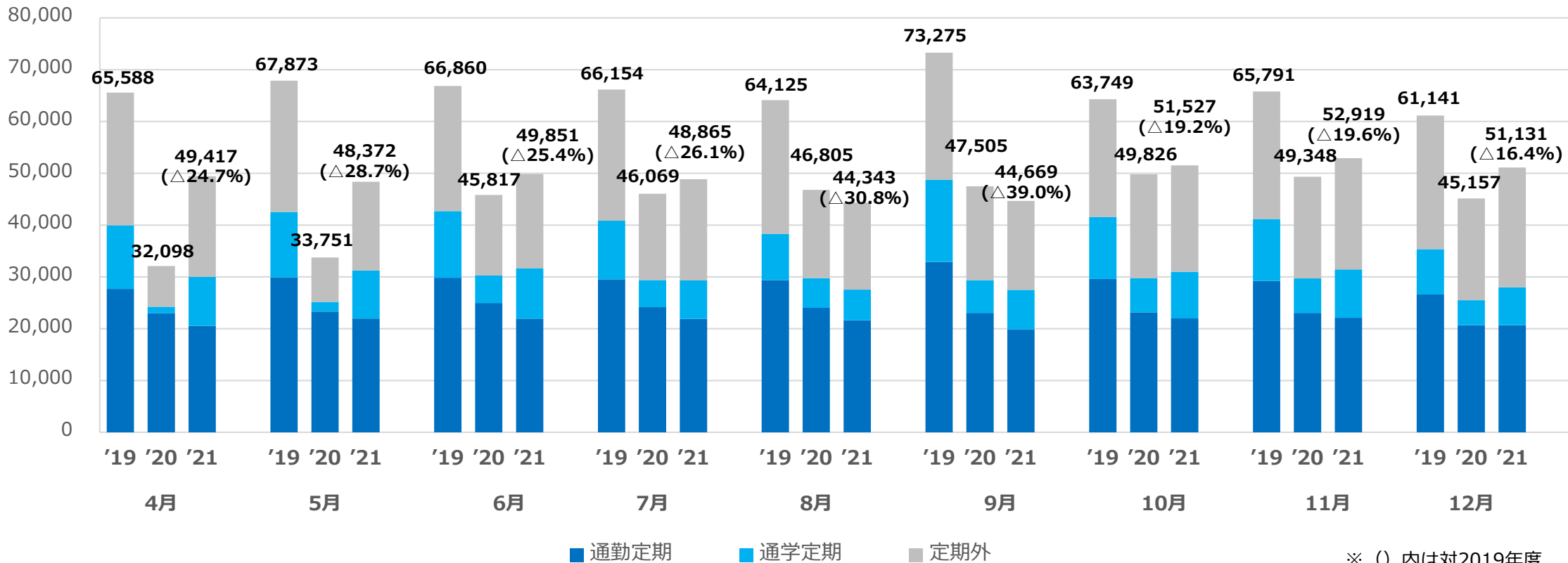


2022年3月期 第3四半期
決算説明資料

2022年2月9日

<小田急電鉄 輸送人員>

(千人)



(参考) 緊急事態宣言 2020年度 : 4/7~5/25 2021年度 : 4/25~6/20・7/12~9/30

※ 2021年度より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用していますが、前年度実績の組替えは行っていません。
 なお、適用による影響額は当社HPの「FAQ」に記載しています。

単位：百万円	2020年度 第3四半期	2021年度 第3四半期	増減
営業収益	273,302	267,732	△5,569 (△2.0%)
運輸業	87,466	98,686	+11,219
流通業	114,556	74,563	△39,993
不動産業	43,023	61,880	+18,857
その他の事業	49,313	52,799	+3,486
調整額	△21,057	△20,198	+859
営業利益	△17,678	9,137	+26,815 (-)
運輸業	△16,525	△485	+16,040
流通業	△1,596	477	+2,073
不動産業	10,417	15,984	+5,566
その他の事業	△10,012	△6,873	+3,139
調整額	38	34	△3
経常利益	△22,156	8,144	+30,301 (-)
親会社株主に帰属する四半期純利益	△19,010	15,985	+34,996 (-)

営業外・特別損益



単位：百万円	2020年度 第3四半期	2021年度 第3四半期		増減・主な要因
営業外収益	3,093	4,195	+1,102	持分法による投資利益 415 (+415)
営業外費用	7,571	5,188	△2,383	持分法による投資損失 - (△2,224)
特別利益	7,563	20,909	+13,346	投資有価証券売却益 11,881 (+8,097) 助成金収入 4,564 (+1,711) 固定資産売却益 3,185 (+2,833)
特別損失	3,729	2,053	△1,676	特別退職金 670 (+670) 臨時休業による損失 - (△2,587)

連結貸借対照表



単位：百万円	2020年度	2021年度 第3四半期	増減・主な要因
流動資産	146,692	140,654	△6,038
固定資産	1,180,304	1,154,255	△26,048
資産合計	1,326,996	1,294,909	△32,086 現金及び預金 △5,188 投資有価証券 △18,611
流動負債	339,704	340,158	+454
固定負債	634,835	601,325	△33,509
負債合計	974,539	941,484	△33,054 有利子負債 △18,369
純資産合計	352,456	353,424	+967 利益剰余金 +11,512 その他有価証券評価差額金 △10,142
負債純資産合計	1,326,996	1,294,909	△32,086

(参考) その他の財務情報

単位：百万円	2020年度	2021年度 第3四半期	増減
現金及び預金	49,397	44,209	△5,188
有利子負債	782,822	764,452	△18,369
自己資本比率	26.4%	27.1%	+0.7P

単位：百万円	2020年度 第3四半期	2021年度 第3四半期	増減・主な要因	
営業収益	87,466	98,686	+11,219 (+12.8%)	
鉄道業	65,938	74,541	+8,602	(+)当社定期外収入の回復 +7,362
バス業	18,418	20,994	+2,575	
その他	3,109	3,150	+41	
営業利益	△16,525	△485	+16,040 (-)	
鉄道業	△9,831	2,625	+12,456	
バス業	△5,732	△2,170	+3,561	
その他	△961	△939	+22	

<フリーパス売上枚数（対前年）>

箱根フリーパス	△10.0%
江の島・鎌倉フリーパス	+56.0%

<小田急旅行センター利用者数（対前年）>

乗車券等の購入者	△8.1%
----------	-------

<箱根エリアの営業収益>

単位：百万円	2020年度 第3四半期	2021年度 第3四半期	増減
箱根エリア*	8,673	8,349	△324

（参考）箱根交通各社合計輸送人員 対前年 +9.5%

※ 運輸業の他にホテル業も一部含まれています。

<鉄道業：小田急電鉄 運輸成績・営業費>

■ 輸送人員

単位：千人	2020年度 第3四半期	2021年度 第3四半期	増減		
			対2020年度		対2019年度
定期	253,265	267,704	+14,439	(+5.7%)	(△27.8%)
通勤定期	209,353	192,674	△16,679	(△8.0%)	(△27.1%)
通学定期	43,912	75,030	+31,118	(+70.9%)	(△29.6%)
定期外	143,111	173,390	+30,279	(+21.2%)	(△22.5%)
合計	396,376	441,094	+44,718	(+11.3%)	(△25.8%)

■ 運輸収入

単位：百万円	2020年度 第3四半期	2021年度 第3四半期	増減		
			対2020年度		対2019年度
定期	25,977	27,076	+1,098	(+4.2%)	(△27.0%)
通勤定期	23,968	23,271	△696	(△2.9%)	(△26.3%)
通学定期	2,009	3,804	+1,795	(+89.4%)	(△30.7%)
定期外	32,340	39,703	+7,362	(+22.8%)	(△26.2%)
旅客運輸収入計	58,318	66,779	+8,461	(+14.5%)	(△26.5%)
運輸雑収	2,421	2,562	+140	(+5.8%)	(△9.8%)
運輸収入合計	60,739	69,342	+8,602	(+14.2%)	(△26.0%)

■ 営業費

単位：百万円	2020年度 第3四半期	2021年度 第3四半期	増減
営業費合計	68,674	65,521	△3,152
人件費	19,869	18,136	△1,733
修繕費	4,486	3,997	△488
動力費	3,991	3,658	△333
固定資産除却費	928	552	△375
減価償却費	18,652	19,004	+352
その他	20,746	20,172	△573

単位：百万円	2020年度 第3四半期	2021年度 第3四半期	増減・主な要因	
営業収益	114,556	74,563	△39,993 (△34.9%)	
百貨店業	61,791	23,310	△38,480	(△)会計方針変更の影響 △46,556 (+)前期 4/8～5/25臨時休業(食品除く)
ストア・小売業	47,721	45,886	△1,834	(△)会計方針変更の影響 △4,291 (+)駅構内コンビニの利用者数回復
その他	5,044	5,366	+321	
営業利益	△1,596	477	+2,073 (-)	
百貨店業	△1,318	311	+1,630	
ストア・小売業	△54	210	+264	
その他	△223	△44	+178	

<百貨店業：営業収益内訳（実績・対前年）>

単位：百万円	2021年度 第3四半期	増減
新宿店	14,122	△64.6%
店頭	13,748	△61.3%
町田店	5,759	△65.4%
ふじさわ	1,320	△63.9%
その他	2,108	+35.1%
合計	23,310	△62.3%

<百貨店業：小田急百貨店取扱高（対前年）>

新宿店	+15.7%
町田店	+10.0%
ふじさわ	+7.4%
3店合計	+13.7%

※ 会計方針の変更による影響額を控除して比較を行っています。

<ストア・小売業：小田急商事ストア部門取扱高（対前年）>

全店	+0.0%
既存店	△0.4%

※ 会計方針の変更による影響額を控除して比較を行っています。

単位：百万円	2020年度 第3四半期	2021年度 第3四半期	増減・主な要因	
営業収益	43,023	61,880	+18,857 (+43.8%)	
不動産分譲業	12,682	29,424	+16,742	(+)計上戸数増
不動産賃貸業	30,341	32,456	+2,114	(+)前期商業施設賃料減免の反動
営業利益	10,417	15,984	+5,566 (+53.4%)	
不動産分譲業	△691	3,111	+3,803	
不動産賃貸業	11,109	12,872	+1,762	

<分譲業：小田急不動産 計上戸数>

単位：戸・区画	2020年度 第3四半期	2021年度 第3四半期	増減
戸建	66	59	△7
マンション	23	320	+297
土地	34	138	+104
合計	123	517	+394

単位：百万円	2020年度 第3四半期	2021年度 第3四半期	増減・主な要因	
営業収益	49,313	52,799	+3,486 (+7.1%)	
ホテル業	7,837	9,132	+1,294	(+)シティホテル稼働回復 (+)前期開業物件通期寄与
レストラン飲食業	8,357	9,001	+644	
その他	33,118	34,665	+1,547	(+)会計方針変更の影響 +2,598
営業利益	△10,012	△6,873	+3,139 (-)	
ホテル業	△7,977	△5,836	+2,140	(+)費用削減
レストラン飲食業	△1,420	△1,090	+329	
その他	△614	54	+669	

<ホテル業：外国人宿泊者比率>

	2020年度 第3四半期	2021年度 第3四半期	増減
ハイアット リージェンシー 東京	14.5%	16.7%	+2.2P
ホテルセンチュリーサザンタワー	0.6%	5.7%	+5.1P

<ホテル業：客室稼働率>

	2020年度 第3四半期	2021年度 第3四半期	増減
ハイアット リージェンシー 東京	10.2%	20.5%	+10.3P
ホテルセンチュリーサザンタワー	11.4%	25.2%	+13.8P
山のホテル	50.7%	37.8%	△12.9P
箱根ハイランドホテル	48.1%	38.6%	△9.5P
ホテルはつはな	58.8%	42.5%	△16.3P

- ・今回の業績予想では、不動産分譲業で計上戸数の増加を見込むことに加え、鉄道業では費用削減を見込むなど、前回予想を一部修正しています。

単位：百万円	2020年度	2021年度	増減	10月時点見込	増減
営業収益	385,978	365,400	△20,578 (△5.3%)	364,400	+1,000 (+0.3%)
運輸業	116,230	135,100	+18,869	135,100	—
流通業	157,685	101,500	△56,185	101,500	—
不動産業	72,872	81,900	+9,027	80,900	+1,000
その他の事業	68,131	73,700	+5,568	73,700	—
調整額	△28,941	△26,800	+2,141	△26,800	—
営業利益	△24,190	5,400	+29,590 (—)	3,500	+1,900 (+54.3%)
運輸業	△25,937	△3,700	+22,237	△4,600	+900
流通業	△1,741	1,000	+2,741	1,000	—
不動産業	16,459	18,000	+1,540	17,000	+1,000
その他の事業	△13,020	△9,900	+3,120	△9,900	—
調整額	49	0	△49	0	—
経常利益	△31,223	4,300	+35,523 (—)	2,000	+2,300 (+115.0%)
親会社株主に帰属する当期純利益	△39,804	10,000	+49,804 (—)	10,000	— (0.0%)
設備投資額	62,943	76,100	+13,156	76,100	—
減価償却費	51,258	49,500	△1,758	49,500	—
有利子負債残高	782,822	769,300	△13,522	769,300	—

セグメント別業績予想 (運輸業)



単位：百万円	2020年度	2021年度	増減・主な要因		10月時点見込	増減・主な要因	
営業収益	116,230	135,100	+18,869 (+16.2%)		135,100	- (0.0%)	
鉄道業	87,868	102,200	+14,331	(+)当社定期外収入の回復	102,200	-	
バス業	24,491	28,400	+3,908		28,400	-	
その他	3,870	4,500	+629		4,500	-	
営業利益	△25,937	△3,700	+22,237 (-)		△4,600	+900 (-)	
鉄道業	△16,710	900	+17,610		0	+900	(+)費用削減
バス業	△7,494	△3,200	+4,294		△3,200	-	
その他	△1,733	△1,400	+333		△1,400	-	

設備投資額	35,155	32,700	△2,455
減価償却費	33,309	33,000	△309

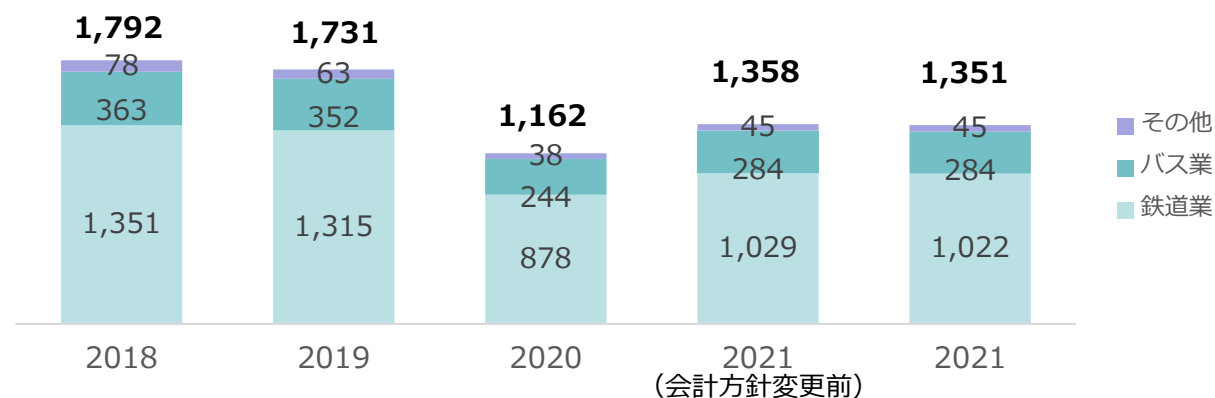
	32,700	-	
	33,000	-	

<箱根エリアの営業収益>

単位：百万円	2020年度	2021年度	増減
箱根エリア*	10,757	12,226	+1,469

* 運輸業の他にホテル業も一部含まれています。

営業収益の推移 (単位：億円)



セグメント別業績予想（運輸業）

<鉄道業：小田急電鉄 運輸成績・営業費>

■ 輸送人員

単位：千人	2020年度	2021年度	増減		
			対2020年度		対2019年度
定期	331,963	356,375	+24,412	(+7.4%)	(△25.4%)
通勤定期	274,678	261,544	△13,134	(△4.8%)	(△25.1%)
通学定期	57,285	94,831	+37,546	(+65.5%)	(△26.1%)
定期外	193,262	238,888	+45,626	(+23.6%)	(△16.9%)
合計	525,225	595,263	+70,038	(+13.3%)	(△22.2%)

■ 運輸収入

単位：百万円	2020年度	2021年度	増減		
			対2020年度		対2019年度
定期	34,290	36,255	+1,964	(+5.7%)	(△25.0%)
通勤定期	31,638	31,448	△190	(△0.6%)	(△24.7%)
通学定期	2,652	4,806	+2,154	(+81.2%)	(△27.2%)
定期外	43,575	55,200	+11,624	(+26.7%)	(△19.9%)
旅客運輸収入計	77,866	91,455	+13,589	(+17.5%)	(△22.0%)
運輸雑収	3,191	3,524	+333	(+10.4%)	(△7.2%)
運輸収入合計	81,057	94,980	+13,922	(+17.2%)	(△21.6%)

■ 営業費

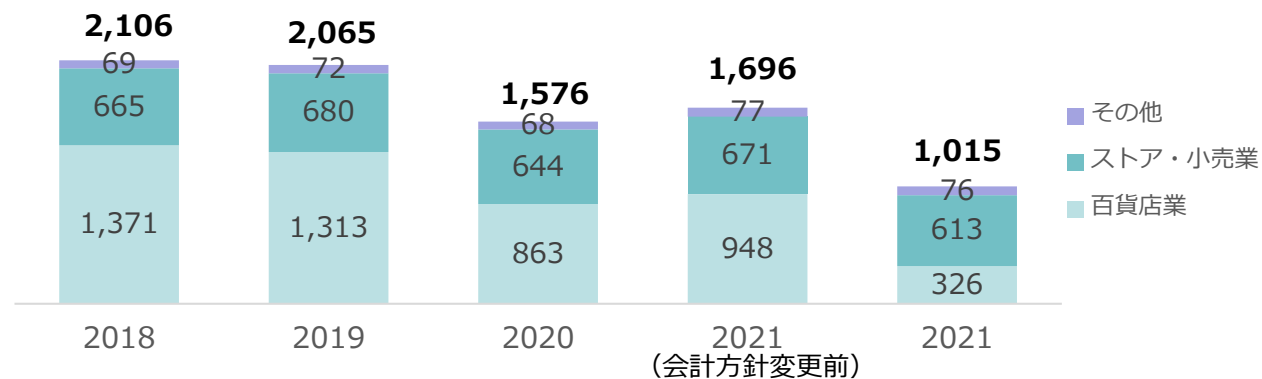
単位：百万円	2020年度	2021年度	増減
営業費合計	94,934	92,135	△2,798
人件費	27,231	24,846	△2,385
修繕費	7,508	7,404	△104
動力費	5,143	5,209	+66
固定資産除却費	1,401	1,180	△221
減価償却費	25,175	25,593	+418
その他	28,473	27,900	△572

セグメント別業績予想 (流通業)



単位：百万円	2020年度	2021年度	増減・主な要因		10月時点見込	増減・主な要因	
営業収益	157,685	101,500	△56,185 (△35.6%)		101,500	- (0.0%)	
百貨店業	86,371	32,600	△53,771	(△)会計方針変更の影響 △62,200 (+)前期 4/8~5/25臨時休業(食品除く)	32,600	-	
ストア・小売業	64,428	61,300	△3,128	(△)会計方針変更の影響 △5,800 (+)駅構内コンビニの利用者数回復	61,300	-	
その他	6,884	7,600	+715		7,600	-	
営業利益	△1,741	1,000	+2,741 (-)		1,000	- (0.0%)	
百貨店業	△1,514	600	+2,114		600	-	
ストア・小売業	57	500	+442		500	-	
その他	△284	△100	+184		△100	-	
設備投資額	3,091	2,700	△391		2,700	-	
減価償却費	3,557	2,800	△757		2,800	-	

営業収益の推移 (単位：億円)



セグメント別業績予想（不動産業）

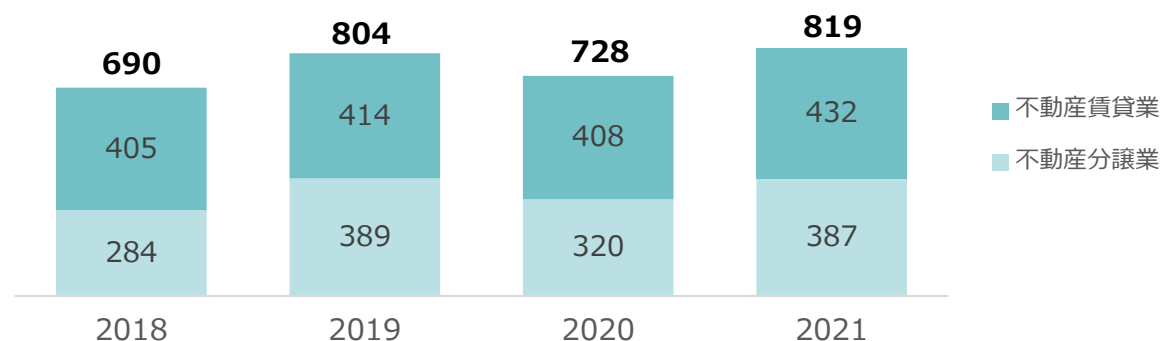


単位：百万円	2020年度	2021年度	増減・主な要因		10月時点見込	増減・主な要因	
営業収益	72,872	81,900	+9,027 (+12.4%)		80,900	+1,000 (+1.2%)	
不動産分譲業	32,044	38,700	+6,655	(+)計上戸数増	38,100	+600	(+)計上戸数増
不動産賃貸業	40,828	43,200	+2,371	(+)前期商業施設賃料減免の反動	42,800	+400	
営業利益	16,459	18,000	+1,540 (+9.4%)		17,000	+1,000 (+5.9%)	
不動産分譲業	2,067	2,800	+732	(△)前期分譲用地販売の反動	2,600	+200	
不動産賃貸業	14,392	15,200	+807		14,400	+800	(+)費用削減
設備投資額	19,265	38,300	+19,034		38,300	-	
減価償却費	10,052	9,600	△452		9,600	-	

<分譲業：小田急不動産 計上予定戸数>

単位：戸・区画	2020年度	2021年度	増減
戸建	128	69	△59
マンション	196	416	+220
土地	52	149	+97
合計	376	634	+258

営業収益の推移（単位：億円）

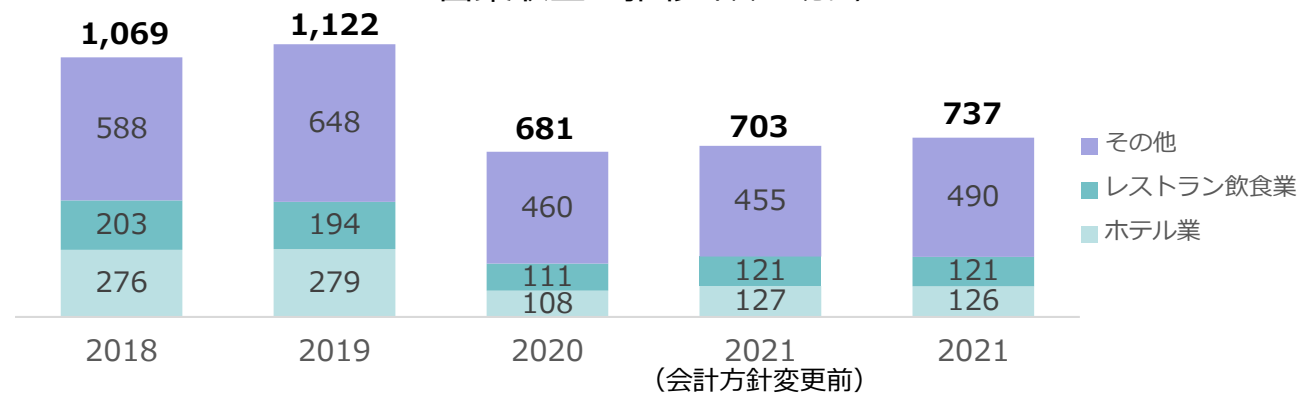


セグメント別業績予想（その他の事業）



単位：百万円	2020年度	2021年度	増減・主な要因		10月時点見込	増減・主な要因	
営業収益	68,131	73,700	+5,568 (+8.2%)		73,700	- (0.0%)	
ホテル業	10,891	12,600	+1,708	(+)シティホテル稼働回復 (+)リゾートホテル稼働回復	12,600	-	
レストラン飲食業	11,160	12,100	+939	(+)駅構内飲食店等の利用者数回復	12,100	-	
その他	46,079	49,000	+2,920	(+)会計方針変更の影響 +3,500 (+)リゾート人材派遣・広告需要回復	49,000	-	
営業利益	△13,020	△9,900	+3,120 (-)		△9,900	- (-)	
ホテル業	△10,429	△8,100	+2,329		△8,100	-	
レストラン飲食業	△2,008	△1,600	+408		△1,600	-	
その他	△582	△200	+382		△200	-	
設備投資額	5,431	2,400	△3,031		2,400	-	
減価償却費	4,422	4,100	△322		4,100	-	

営業収益の推移（単位：億円）



■ご案内

この決算説明資料の他に、決算に関する資料として下記資料を当社HPの「決算関連資料」 (<https://www.odakyu.jp/ir/financial/>) に掲載しています。

- ・ 決算短信
- ・ 決算説明資料（解説付）
- ・ 決算に関するFAQ

■注意事項

スライドに記載されている計画、見通し、戦略のうち、歴史的事実でないものは、将来の見通しであり、これらは開示時点で入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいています。

したがって、実際の業績は経済情勢等の変化によって業績見通しとは異なる可能性があります。

小田急電鉄株式会社